

ふれあい

No.
38

CONTENTS

- P 2 当院の心不全医療における地域連携の取り組み
- P 3 X線CT装置を更新しました
- P 4 ICT医療推進センターを立ち上げました
- P 9 地域医療支援センター内に
地域に開かれたオンライン退院調整会議室を開設しました
- P 12 坂本管理者がへき地医療貢献者表彰を受けました
- P 13 熊本県国保地域医療学会にて最優秀賞を受賞しました
- P 14 TKU「熊本がいい〜の」久木野診療所の取材がありました

診療日程

発行 国保水俣市立総合医療センター広報委員会

病院理念

国保水俣市立総合医療センターは、地域住民の皆様に「信頼され、期待され、選ばれる」病院となるために、以下のことに専念します。

- 患者中心の医療
- 安全で高度な医療
- 地域との連携
- 環境保全
- 健全経営

国保水俣市立総合医療センター
〒867-0041 熊本県水俣市天神町1丁目2番1号
TEL 0966-63-2101 FAX 0966-63-1393
ホームページ <https://minamata-hp.jp/>
QRコードからアクセスできます



当院の心不全医療における地域連携の取り組みについて

心不全はあらゆる循環器病の終末像であり、増悪と緩解を繰り返しながら、運動耐容能低下をきたし、生命予後を悪化させる症候群であります。わが国において心不全患者が現在約100万人いると推計されていますが、超高齢化の進行により少なくとも2035年までは増え続けると推定されており、「心不全パンデミック」と呼ばれ心不全患者の増加に警鐘を鳴らされています。心不全の増悪による再入院は医療費増大の原因となることに加え、心不全特有の症状や運動耐容能低下は生活機能の低下や精神状態の悪化を引き起こし、患者や家族の生活の質（QOL）を低下させます。様々な問題を抱える心不全患者を包括的に支援し、患者や家族のQOLを維持し、医療費の増大を抑えるためには、適切な治療の実施に加えて、医療専門職がチームを組み、それぞれの専門性を活かしつつ協同するチーム医療が不可欠であります。

今回当院におきまして、多職種での心不全療養チームを発足することになりました。

心不全療養チームでは、心不全患者の安定期の維持と再発予防、増悪の早期発見と早期介入による重症化の回避、致命的イベントに対する迅速な治療介入、退院後の早期発見予防、症状の緩和などによって生命予後の改善やQOLの維持を目的として、水俣・芦北地域における地域連携ネットワークの構築を目指しています。

心不全増悪を予防するためには適切な医学的介入に加え、患者家族への教育、十分な福祉支援、地域との



連携といった、多方面からの介入が必要となります。水俣・芦北地域におけるかかりつけ医の先生方や各事業所並びに患者家族と心不全患者を地域で支えるための心不全地域連携構築の取り組みを進めており、ICTの活用なども検討しています。

現在、心不全療養チームでは地域連携構築のツールとして、かかりつけ医の先生方や各事業所と連携を行うための心不全地域連携パスの作成や、患者家族が退院後心不全増悪を早期発見出来るためのツールの作成を進めています。また、再入院を繰り返される心不全患者に対して各職種が専門性を活かした多職種でのカンファレンスを実施しています。スキルアップを目的として、日本循環器学会から心不全の発症・重症化予防のための療養指導に従事する医療専門職に必要な基本的知識および技能など資質の向上を図ることを目的として、創設された「心不全療養指導士」の資格取得を目指す取り組みも進めています。

地域で心不全患者の管理を行っていくためには、地域連携の構築が重要であり、今後勉強会等を実施し、情報共有を行っていきます。この取り組みを進めて行く上でも今まで以上に地域の皆様との連携がより一層必要となりますので、ご理解並びにご協力の程、どうぞよろしくお願いいたします。

X線CT装置を更新しました

【新しい装置の特長】

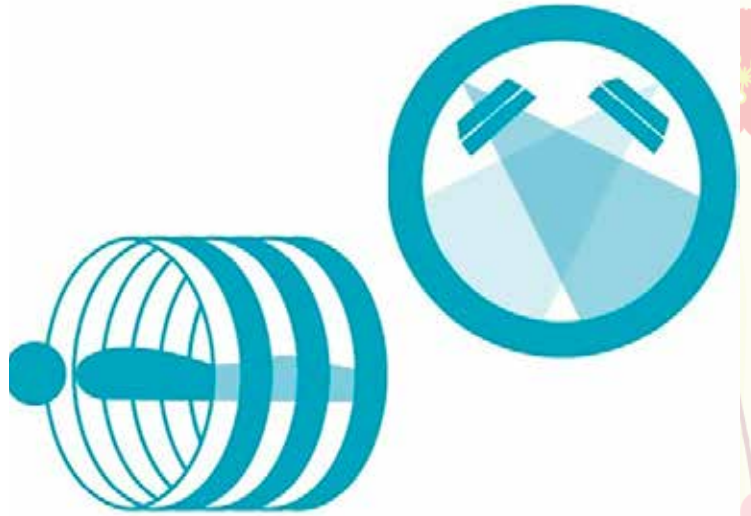
従来の128スライス同時収集機能に加え、X線管、ディテクター共に2個内蔵されています。

これにより撮影時間が大幅に高速化され全身を5秒以内で撮影が可能です。

息止め困難な患者様でも、呼吸による画像不良が大幅に低減し、患者様の負担軽減に繋がります。



ドイツ シーメンスヘルスケア社製
「SOMATOM Drive」



2つのX線管による高速撮影モード

【新しく可能になる検査】

○デュアルエネルギー検査

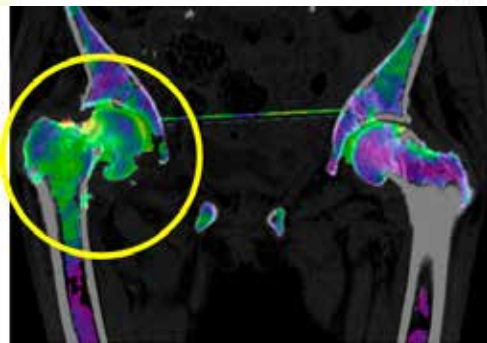
2つのエネルギーを同時出力する事により新しいカラーマップ検査が可能となりました。

例えば骨浮腫の抽出などは従来MRIでしか検査出来ませんでした。CTで行うことにより、短時間で撮影を行うことが出来ます。

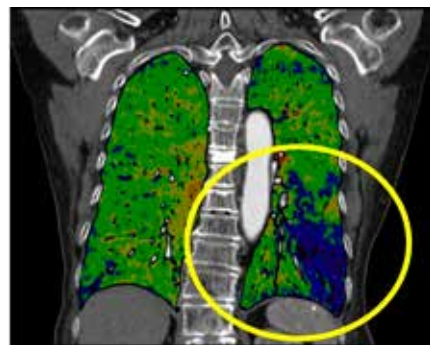
また胸痛を患った患者様についても高速撮影の利点を生かし、一回の撮影にて肺塞栓症、心血管の梗塞など早期診断を行うことが可能です。



金属アーチファクト低減機能



Bone marrow image(仮想骨髓画像)



肺還流画像(肺動脈血拴の形態評価)

その他さまざまな検査に対応が可能となりますので、お気軽にお問い合わせください。

地域医療におけるICT活用推進

国保水俣市立総合医療センターに

「ICT医療推進センター」を立ち上げました



部屋は本館5F

2022年4月にICT医療推進センターを立ち上げ、病院内外における医療ICTの活用を率先して行っています。当センターには多職種が所属し、新規計画の立案や実施、技術開発を行っています。

診療の質向上と業務の効率化を目指し、日々活動しております。地域のお役に立てるよう頑張りますので今後ともよろしくお願い致します。



オンライン診療ブース



ミーティングの様子

◎水俣市との協同事業

- 多職種オンライン連携診療モデル（令和3年度総務省事業）
- つながる拠点による安心な暮らし（令和4年度総務省事業）
- オンライン退院調整会議設備整備

◎取り組んでいるテーマ

- オンライン診療（主に移動困難者が対象）
- オンライン連携（介護、退院調整、緩和ケア）
- オンラインコンサルト
- がん治療広域連携（外科⇄熊本大学）
- 業務効率化（iPad問診、遠隔画像閲覧等）

久木野診療所
派遣医師支援のための
定期オンライン診療



移動困難者に対する
オンライン診療（循環器内科）



慢性片頭痛患者に対する
オンライン頭痛外来
（脳神経内科）



問い合わせ：ICT医療推進センター 長井(外科)・情報企画室 PHS8902 山澤

「ICT医療推進センター」設置について

令和3年度、水俣市が過疎地域持続的発展支援交付金事業に選定され実施したオンライン連携診療の実証事業により、医療現場においてICT技術が医療アクセスの課題解決や医療、介護職の身体的及び時間的負担の軽減、多職種連携による医療の効率化、質の向上など、導入による新しい社会的効果が示されました。

実証事業の効果を踏まえ、当センターでは令和4年度からICT医療推進センターを設置しております。

ICT医療推進センターでは、オンライン診療をはじめとする医療、介護分野へのICTの導入を促進することにより医療水準の維持、業務の効率化、労働環境の改善など、様々な医療環境問題の解決に取り組んでいます。

「主な事業内容」

- ・久木野診療所における遠隔聴診対応ビデオチャットシステムを活用したオンライン診療
- ・在宅や介護施設等の移動困難者、へき地離島等などの移動困難者を対象としたオンライン診療
- ・地域の医療機関や施設間におけるICTを活用した医師同士の連携や看護師同士の連携による診療支援及び看護支援
- ・新型コロナウイルスの感染防止及び医師、看護師の負担軽減、業務の効率化を目的とした発熱外来や救急外来におけるタブレット問診システムの導入
- ・コロナ禍による面会制限に対応するためのタブレット端末によるオンライン面会
- ・患者家族への説明や他施設の医療スタッフとの退院調整会議等のオンライン会議用設備整備

このようなICTを活用した取組み（医療DX）を推進し、近隣医療機関や介護福祉施設との連携が充実することにより、地域住民へのメリットにもつながっていくものと考えております。

また、このような他の地域の病院に先駆けた取組みは、当院で働く医師のキャリアアップにもつながる効果があり、医師確保に寄与するものと考えております。

今後とも当センターの事業について、ご理解ご協力の程よろしくお願い致します。

（文責：情報企画室次長兼ICT医療推進センター副センター長 山澤）

くまもとメディカルネットワーク 芦北圏域 活用実績報告(R4.12現在)

平素より当センターの運営について、ご支援頂きありがとうございます。

おかげさまで、芦北圏域のくまもとメディカルネットワーク登録数も**1万人を超え、人口カバー率22.3%**を達成しております。(R4年12月実績)

引き続き患者様の参加同意書の取得、くまもとメディカルネットワークを活用した連携について、ご協力頂きますようよろしくお願い致します。

なお、活用方法など不明な点がございましたら、ご対応させて頂きますので、当センター情報企画室までお問い合わせ下さい。今後ともよろしくお願い致します。

問い合わせ先:総合医療センター情報企画室 0966-63-2101 内595 PHS8902担当:山澤

くまもとメディカルネットワーク参加同意書数 芦北圏域R4年12月実績

芦北

施設区分名	施設名	参加同意書数
病院	岡部病院	1
病院	国保水俣市立総合医療センター	9,789 (+222)
病院	白梅病院	39
病院	水俣協立病院	57
診療所	井上医院	1
診療所	尾田胃腸科	1
診療所	国保水俣市立総合医療センター附属久木野診療所	4
診療所	篠原医院	1
診療所	神経内科リハビリテーション協立クリニック	8
診療所	竹本医院	128 (+3)
診療所	てらさきクリニック	61
診療所	七浦てらさきクリニック	20
診療所	本田レディースクリニック	2
診療所	まなべクリニック	1
診療所	山田クリニック	4
薬局	さくら薬局	4
薬局	日本調剤 水俣薬局	60
薬局	平和薬局センター店	221 (+2)
薬局	吉富薬局	9
介護事業所・施設	介護老人保健施設 やすらぎ苑	21
介護事業所・施設	居宅介護支援事業所 やすらぎ苑	1
介護事業所・施設	在宅総合ケアセンター協立	5
介護事業所・施設	やまだ介護支援センター	10
訪問看護ステーション	ケアリングあゆみ訪問看護ステーション	1
訪問看護ステーション	訪問看護ステーション しあわせ	10
訪問看護ステーション	訪問看護ステーション 白梅	2
健診センター	国保水俣市立総合医療センター 健康管理センター	7

くまもとメディカルネットワーク施設別利用状況一覧(医療圏別)

2022/12/01 ~ 2022/12/31 期間

芦北

施設区分名	利用施設名 ※(救)・・・救急モード利用施設	診療情報 ビューア ※() 救急搬送	文書 送受信	生活情報 ビューア
病院	国保水俣市立総合医療センター (救)	4,975 (2050)	14,670	1,075
病院	水俣協立病院	5	10	0
病院	水俣市立明水園	36	0	0
診療所	井上医院	80	0	0
診療所	竹本医院	52	60	112
診療所	てらさきクリニック	70	5	0
診療所	深水医院	0	125	0
診療所	宮島医院	20	95	0
診療所	山田クリニック	10	55	0
薬局	平和薬局センター店	3,195	410	155
薬局	吉富薬局	65	55	0
介護事業所・施設	居宅介護支援事業所 やすらぎ苑	0	8	16
介護事業所・施設	ケアアシスト	0	8	0
介護事業所・施設	CareQloveえぐち 居宅介護支援事業所	24	34	4
介護事業所・施設	ケアプランセンターきみしま	0	4	0
介護事業所・施設	白梅ケアプランセンター	1	3	0
訪問看護ステーション	ニチイケアセンター水俣 訪問看護ステーション	120	90	122
訪問看護ステーション	訪問看護ステーション 協立	34	26	14
訪問看護ステーション	訪問看護ステーション 白梅	4	20	0
訪問看護ステーション	訪問看護ステーション はなみ	32	0	64
訪問看護ステーション	訪問看護ステーション みやざき	4	36	24
訪問看護ステーション	美里訪問看護ステーション	0	46	24
地域包括支援センター	津奈木町地域包括支援センター	12	12	12
地域包括支援センター	水俣市地域包括支援センター	0	42	0

医療圏別新規参加同意書数一覧(参加者所在地別)
熊本県内

令和4年12月28日 現在 84,574 名

前回報告 令和4年11月30日 時点 2,010 名増

熊本県

熊本 18,050 名 (+607)

施設区分名	参加同意書数
熊本市中央区	4,766 (+165)
熊本市東区	3,906 (+155)
熊本市西区	3,241 (+85)
熊本市南区	3,065 (+97)
熊本市北区	3,072 (+105)

宇城 4,069 名 (+82)

施設区分名	参加同意書数
宇土市	1,027 (+18)
宇城市	2,499 (+54)
下益城郡美里町	543 (+10)

有明 3,437 名 (+80)

施設区分名	参加同意書数
荒尾市	827 (+18)
玉名市	1,825 (+42)
玉名郡玉東町	148 (+4)
玉名郡南関町	96 (+3)
玉名郡長洲町	327 (+6)
玉名郡和水町	214 (+7)

鹿本 1,583 名 (+89)

施設区分名	参加同意書数
山鹿市	1,583 (+89)

菊池 4,939 名 (+193)

施設区分名	参加同意書数
菊池市	2,034 (+38)
合志市	1,186 (+44)
菊池郡大津町	990 (+75)
菊池郡菊陽町	729 (+36)

阿蘇 4,412 名 (+83)

施設区分名	参加同意書数
阿蘇市	1,859 (+30)
阿蘇郡南小国町	274 (+8)
阿蘇郡小国町	511 (+10)
阿蘇郡産山村	277 (+1)
阿蘇郡高森町	361 (+10)

阿蘇郡西原村	118 (+5)
阿蘇郡南阿蘇村	1,012 (+19)

上益城 2,923 名 (+86)

施設区分名	参加同意書数
上益城郡御船町	587 (+24)
上益城郡嘉島町	336 (+15)
上益城郡益城町	619 (+18)
上益城郡甲佐町	747 (+19)
上益城郡山都町	634 (+10)

八代 6,327 名 (+79)

施設区分名	参加同意書数
八代市	5,068 (+67)
八代郡氷川町	1,259 (+12)

芦北 9,334 名 (+182)

施設区分名	参加同意書数
水俣市	5,803 (+106)
葦北郡芦北町	2,529 (+59)
葦北郡津奈木町	1,002 (+17)

球磨 26,558 名 (+446)

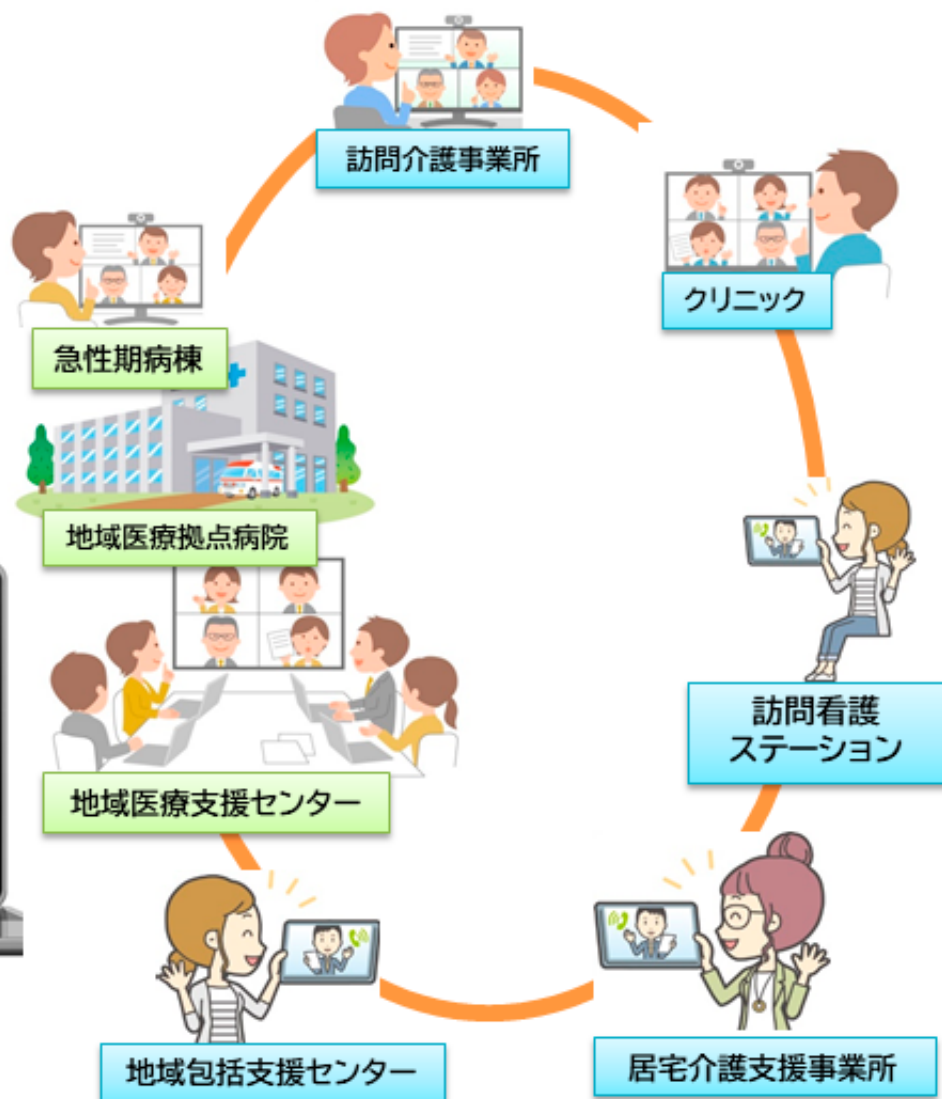
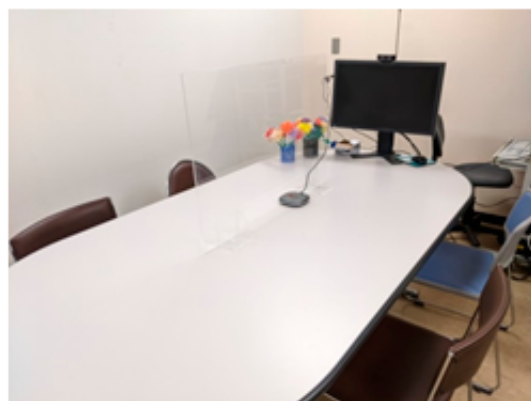
施設区分名	参加同意書数
人吉市	10,843 (+177)
球磨郡錦町	3,095 (+65)
球磨郡多良木町	2,361 (+36)
球磨郡湯前町	1,073 (+20)
球磨郡水上村	626 (+6)
球磨郡相良村	1,599 (+32)
球磨郡五木村	572 (+4)
球磨郡山江村	1,133 (+21)
球磨郡球磨村	1,264 (+17)
球磨郡あさぎり町	3,992 (+68)

天草 2,942 名 (+83)

施設区分名	参加同意書数
上天草市	1,240 (+31)
天草市	1,577 (+46)
天草郡苓北町	125 (+6)

地域医療支援センター内に 地域に開かれた オンライン退院調整会議室を 開設しました！！

地域の医療・介護を支えるスタッフが、
いつでもICT技術を活用し、情報共有できる
地域に開かれた多職種参加のオンライン会議室です



- ・担当者会議等にもご活用ください！！
- ・会議用タブレット端末の貸し出しも行っております。
- ・詳しくはお問い合わせ下さい。(代)0966-63-2101

国保水俣市立総合医療センター地域医療支援センター・ICT医療推進センター

「オンライン退院調整会議設備整備事業」について

「目的・内容」

地域の医療・介護関係者の情報連携が求められる中、新型コロナウイルス感染症の拡大により、医療機関と介護施設の連携、例として、退院前カンファレンス（退院調整会議）等の開催が困難になっています。

令和2年度の診療報酬改定の中で、情報通信機器を用いたカンファレンス等に係る要件の見直しがあり、「原則、対面で実施」が「必要な場合、ICT活用可」となりましたが、この地域では活用が普及していない状況です。

このような状況から、情報通信機器を用いてカンファレンスを開催できるよう、設備整備、活用方法の教育指導など含めた環境整備を行うものです。

従来（感染リスク・開催不可・参加者減→退院調整困難・希望の生活への復帰困難→医療サービスの質の低下）

病院内で開催

参加者

医師・看護師・患者・患者ご家族等
ソーシャルワーカー・栄養士
リハビリスタッフ・薬剤師・ケアマネージャー
・訪問看護師・訪問薬剤師
福祉用具専門相談員・通所スタッフ・ヘルパー



これまでも、時間の都合で
在宅医・訪問薬剤師など
参加が難しい職種もあった

今後（感染防止・移動時間の短縮→効率化・参加率向上→医療サービスの質の向上）

各事業所から参加(一例)

病棟
医師・看護師・患者

ソーシャルワーカー
リハビリスタッフ
薬剤師・管理栄養士

調剤薬局
訪問薬剤師

患者・
患者ご家族等

福祉用具
専門相談員

在宅医
訪問看護師

事業所
ケアマネージャー



「事業のねらい」

新型コロナウイルス感染症の感染防止のため自重していたカンファレンスを、I C Tを用いて従来と同じ水準で行えるよう体制を整えます。

カンファレンスが実施されることにより、患者様が退院後、ご自宅等で安心安全な療養生活の継続が、スムーズに行われるようになります。

I C Tの活用により自施設内からオンラインでカンファレンスに参加できるようになるため、新型コロナウイルス感染症の感染リスクを抑えられるほか、カンファレンス参加のための移動時間が不要となることで、医療介護スタッフは他の業務へ時間を充てることができるようになり、業務の効率化、スタッフの負担軽減にもつながります。

先月より、水俣市内の施設対象にオンライン会議用タブレット端末の要望調査を行い、希望されたご施設へ端末の貸し出しを行っております。

このようなI C Tを活用した取組み（医療D X）を推進し、近隣医療機関や介護福祉施設との連携が充実することにより、地域住民へのメリットにも繋がっていくものと考えております。

今後とも当センターの事業について、ご理解ご協力の程よろしくお願いいたします。

ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

（文責：情報企画室次長 兼 I C T医療推進センター副センター長 山澤）



オンライン連携会議用タブレット端末iPadの貸し出し希望調査

国保水俣市立総合医療センター情報企画室・ICT医療推進センター・地域医療支援センター

この度、医療センターの「オンライン遠隔調整会議設備整備事業」として、遠隔カンファレンスやサービス担当者会議等に利用するタブレット端末iPadの貸し出しを実施することになりました。貸し出し希望や要望についてアンケート調査を行いますのでご協力の程よろしくお願いいたします。

メールアドレス*

有効なメールアドレス

このフォームではメールアドレスが収集されます。 [設定を変更](#)

問い合わせ先：0966-63-2101

国保水俣市立総合医療センター

地域医療支援センター 溝上

情報企画室 兼 I C T医療推進センター 山澤

TOPICS

坂本管理者がへき地医療貢献者表彰を受けました

全国自治体病院開設者協議会、公益社団法人全国自治体病院協議会において、山村・離島等、医療に恵まれないへき地等の地域における医療確保に献身的に尽くしてこられた方を対象に表彰される、へき地医療貢献者表彰を当センター坂本病院事業管理者が受賞されました。

この賞は、全国から推薦された候補者の中から選出され、全国で21名受賞されていますが、熊本県においては唯一の受賞となっております。

【坂本病院事業管理者の功績】

現在まで43年にわたり、芦北医療圏及び鹿児島県の北薩地域の地域医療で活躍し、へき地医療に貢献。

平成11年まで救急医療の責任者として、地域の救急医療の充実に寄与し、年間延べ8千人を超える救急患者の診療に尽力。

平成15年の院長就任時には最大約25億円あった累積欠損金を、平成23年度には解消し、平成26年度には自治体優良病院会長表彰を、平成27年には自治体優良病院総務大臣賞を受賞している。

平成22年4月の初代病院事業管理者就任後も、熊本県のがん診療拠点病院の指定、地域医療支援病院の承認、熊本県地域医療拠点病院にも指定され、医師の偏在解消に向け、熊本県・熊本大学病院・熊本県医師会と連携を図るなど、地域医療の充実に取り組んできた。更には、芦北医療圏で初めて高度急性期病床に位置付けられる「ハイケアユニット病床（HCU）」を整備し、地域医療の充実につながる取り組みを継続している。

県境を越えた地域からの救急患者も積極的に受け入れ、医療圏を越えた連携を図ることを目的として、芦北医療圏・北薩地域の医療機関、行政、消防等を一堂に会した懇話会を開催し、連携を深める活動を行ってきた。

県行政においても、各種委員会委員として活動している。また、令和3年度に水俣市及び民間企業と協同で実施したオンライン連携診療の実証事業により、久木野診療所における遠隔聴診システムを活用したオンライン診療の実施など、事業管理者となった後も継続して地域医療の現場の第一線に身を置いている。



熊本県国保地域医療学会にて最優秀賞を受賞しました

令和4年10月22日（土）に第26回熊本県国保地域医療学会が開催され、当院から4名が研究発表し、その結果最優秀者に山澤順一情報企画室次長が昨年度に引き続き最優秀賞に選ばれました。なお当日の学会において、昨年度受賞した最優秀賞の表彰を受けました。

山澤室次長は最優秀者として、令和5年10月に福井県で開催予定の第63回全国国保地域医療学会にて県代表として研究発表を行う予定です。

この度は、第25回熊本県国保地域医療学会にて最優秀賞という栄誉ある賞をいただき、大変光栄に思っております。

今年度9月に千葉で開催されました第62回全国国保地域医療学会で発表させていただき、同じ地域医療の課題に取り組む全国の方々と活発な意見交換ができ、大変有意義な学会となりました。

当センターで取り組む「オンライン連携診療」は過疎地域モデルであり、地域医療を守り続けたいという先生方の強い意志をICTというツールを使って支援したいという思いで取り組んでいる仕組みです。

同じ課題を抱える全国の過疎地域でのモデルとなるよう、引き続き取り組んでまいりたいと考えております。

最後に本実証事業の実施に当たりご指導いただきました坂本管理者、阿部院長をはじめ、ご協力いただいた先生方、スタッフの方々に感謝申し上げます。

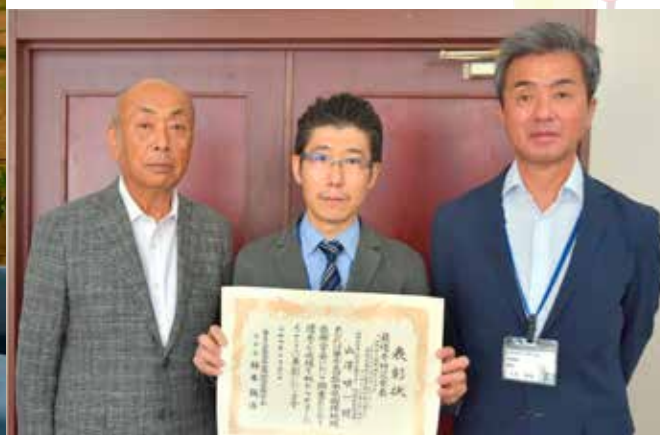
情報企画室室次長 山澤 順一



また、第26回熊本県国保地域医療学会では当院から4題発表を行いました。

発表者と演題（職種）

- ・山澤順一「医療アクセス困難者に対するオンライン連携診療の必要性、有効性」（診療放射線技師）
- ・細山田志保「入退院を繰り返す胆道系疾患患者の再入院の内訳と再入院予防策の検討」（看護師）
- ・政岡秀典「植込み型心電用データレコーダと遠隔モニタリング併用の有効性」（臨床工学技士）
- ・手塚裕美「弾性包帯の巻き方の統一化に向けての取り組み～適性圧で巻くために接触圧力測定器を使用して～」（看護師）



TKU「熊本がいい〜の」久木野診療所の取材がありました

TKU（株式会社テレビ熊本）「熊本がいい〜の」の水俣ロケがあり、久木野診療所と医療センターのオンライン診療の取り組みを取材して頂きました。

2月14日の20：00～TKUで放送されますので皆様一緒に是非ご覧ください。



吉本興業 間寛平さん

TKU本田アナウンサー 来院
久木野診療所にて



吉本新喜劇 すっちーさん来院

医療センター ICT医療推進センターにて



国保水俣市立総合医療センター外来診療のご案内

令和5年2月現在

午前診察 8:30 — 12:00 (受付 8:00 — 11:00)
午後診察 14:00 — 17:00 (受付 13:30 — 15:00)

科名	区分	内容	月	火	水	木	金
呼吸器内科	午前	診察	田代 康正	田代 康正	榮田 浩文	増田 優衣子	田代 康正
			増田 優衣子	榮田 浩文	非常勤医師	榮田 浩文	増田 優衣子
	午後	検査	気管支内視鏡	—	気管支内視鏡	—	—
脳神経外科	午前	診察	工藤 真励奈	手術	宮崎 愛里	工藤 真励奈 宮崎 愛里	(もの忘れ水頭症外来) 工藤真励奈・宮崎愛里
			担当医		担当医	脳ドック(担当医)	担当医
脳神経内科	午前	診察	井 建一朗	植田 明彦	池田 知聡	井 建一朗	池田 知聡
	午後	診察	—	(10:00～14:00) (完全予約制)	—	—	—
MEG センター	午前	特殊検査(脳磁計)	(予約)中村 政明				
消化器内科	午前	診察	森田・泉	成田・家城	小森田・東	森田・小森田	泉・家城
		消化管透視検査	—	—	—	阿部 道雄	—
		消化管内視鏡検査	小森田・家城	泉・森田	森田・家城	泉・家城	森田・小森田・ 外科担当医
		腹部超音波検査	—	小森田	泉	—	—
	午後	検査	泉・森田・小森田・ 家城	泉・森田・小森田・ 家城	泉・森田・小森田・ 家城	泉・森田・小森田・ 家城	泉・森田・小森田・ 家城
循環器内科	午前	診察	廣瀬 豊樹	廣瀬 豊樹	上村 智明	廣瀬 豊樹	廣瀬 豊樹
			老松 優	老松 優	非常勤医師	非常勤医師	上村 智明
	午後	診察(要予約)	—	(ペースメーカー外来) 担当医	—	—	廣瀬 豊樹
心臓血管外科	午前	診察	—	—	—	—	—
	午後	診察(要予約)	—	—	—	—	(第2週) 非常勤医師
糖尿病・内 分泌セン ター 代謝内科	午前	診察	佐田 公範	佐田 公範	古庄 正嗣	佐田 公範	佐田 公範
			藤澤 和夫	藤澤 和夫	藤澤 和夫	藤澤 和夫	(第2週) 吉田 知史
			吉田 知史	古庄(第2・4週) 吉田(第1・3・5週)	吉田 知史	古庄 正嗣	古庄 正嗣
	午後	診察(予約のみ)	佐田 公範	佐田 公範	吉田 知史	佐田 公範	佐田 公範
			藤澤 和夫	藤澤 和夫	藤澤 和夫	藤澤 和夫	(第2週) 吉田 知史
			吉田 知史	古庄(第2・4週) 吉田(第1・3・5週)	—	—	古庄 正嗣
小児科	午前	診察	樫木 仁	樫木 仁	黒澤 孝一	岡本 ムカ	黒澤 孝一
			非常勤医師	三淵(第2週) 黒澤(第1.3.4.5週)	非常勤医師	樫木 仁	樫木 仁
	午後	診察(予約のみ)	(喘息外来) 担当医	(予防接種) 担当医	(喘息外来) 担当医	(1ヶ月検診) 担当医	神経外来(第1週) アレルギー外来 (奇数月第2週)
外科	午前	診察	長井 洋平	坂本不出夫 (9:00～)	坂本 不出夫	長井 洋平	阿部 道雄
			志垣 博信	志垣 博信	阿部 道雄	—	堀之内 誠
			堀之内 誠	—	長井 洋平	—	—
		オンライン診療 乳腺・内分泌	長井 洋平	長井 洋平	長井 洋平	長井 洋平	長井 洋平
整形外科	午前	診察	—	—	非常勤医師	—	—
			宮崎 信	沼田 亨祐	石松 憲明	宮崎 信	宮崎 信
			沼田 亨祐	中島 三郎	棚平 健	棚平 健	沼田 亨祐
			棚平 健	中西 浩一朗	中島 三郎	中島 三郎	石松 憲明
	午後	診察	高木 寛	—	中西 浩一朗	高木 寛	—
			—	—	—	—	—

科名	区分	内容	月	火	水	木	金
リハビリテーション科	午前	診察	—	—	馬場 敦子 (毎月第1・3水曜日)	松瀬 博夫	—
皮膚科	午前	診察	谷川 広紀	谷川 広紀	非常勤医師	谷川 広紀	長野 晴香
			長野 晴香	大溝 耕一郎	—	長野 晴香	大溝 耕一郎
	午後	診察	—	—	手術	—	手術
泌尿器科	午前	診察	(新患) 三浦 太郎	三浦(第1・3・5週) 黒田(第2・4週)	(新患) 黒田 庄一郎	—	(新患) 岩下 仁
			(再来) 岩下 仁	(再来) 岩下 仁	(再来) 岩下 仁	(再来) 三浦 太郎	(再来) 黒田 庄一郎
	午後	診察 特殊検査・手術	(予約) 担当医				
腎臓内科	午前	診察	—	—	—	深水(第2週) 井上(第4週)	—
産婦人科	午前	診察	(新患) 宮村 伸一	(新患) 松井 幹夫	(新患) 宮村 伸一	(新患) 松井 幹夫	手術
			(再来・妊婦健診) 松井 幹夫	(再来・妊婦健診) 宮村 伸一	(再来・妊婦健診) 松井 幹夫	(再来・妊婦健診) 宮村 伸一	
			(人間ドック) 担当医	(人間ドック) 担当医	(人間ドック) 担当医	(人間ドック) 担当医	—
	午後	診察	—	(妊婦検診) 宮村 伸一	—	(妊婦検診) 宮村 伸一	(再来) 宮村 伸一
眼科	午前	診察	非常勤医師	特殊外来	非常勤医師	特殊外来	非常勤医師
	午後	診察	特殊再来	特殊再来	手術	特殊再来	特殊再来
耳鼻咽喉科	午前	診察	—	非常勤医師	—	—	非常勤医師
	午後	診察	非常勤医師 (13:30～15:00)	—	—	—	—
放射線科	午前	診察	—	—	—	—	—
	午後	診察(紹介患者のみ)	楠 真一郎・ 近藤 匠	近藤 匠	近藤 匠	近藤 匠	近藤 匠
歯科口腔外科	午前	診察(初診は午前中のみ)	尾木 秀直 前城 学	尾木 秀直 前城 学	尾木 秀直 前城 学	—	尾木 秀直 前城 学
	午後	診察 (再診及び入院患者の初診のみ ※急患を除く)	尾木 秀直 前城 学	—	尾木 秀直 前城 学	尾木 秀直 前城 学	尾木 秀直 前城 学